

平成28年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大阪市立墨江

小 学 校

児童数

68

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.24	22.16	30.11	38.03	52.23	8.98	137.21	22.84	51.78
大阪市	16.39	19.24	32.42	39.47	48.99	9.37	147.87	22.59	52.61
全国	16.47	19.67	32.87	41.97	51.89	9.38	151.39	22.42	53.92
女子	14.72	17.30	30.86	34.29	37.66	9.50	124.19	13.43	49.41
大阪市	16.20	18.22	36.84	37.74	39.18	9.62	142.12	13.94	54.30
全国	16.13	18.60	37.21	40.06	41.29	9.61	145.31	13.88	55.54

結果の概要

- 体力合計点をみると、男子・女子ともに大阪市・全国平均を下回った。ここ数年、この傾向は変わらない。種目別にみると、男子は8種目中4種目(握力、長座体前屈、反復横とび、立ち幅とび)、女子は「50m走」を除く7種目で全国・大阪市平均を下回る結果となった。
- 男女とも、特に全国・大阪市平均を大きく下回っているのは「立ち幅とび」であり、男子で約10cm、女子で約20cmの開きが見られた。
- 男女ともに全国・大阪市平均を上回ったのは、「50m走」である。
- 男子は、運動・スポーツに対する意識が高く、「運動が好き」「体力に自信がある」とする回答の割合も高い。しかし、女子は、特に「体力に自信がある」とする回答の割合が低く、はっきりと「自信がある」と答えた割合が全国・大阪市平均の約半分に至らなかった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

- 男女ともに「自分にとって運動やスポーツは大切なもの」という意識が高く、「健康のためには運動が大切」と考える児童の割合も高い。特に、男子は「運動が好き」で「体力にも自信」を持っており、「オリンピック・パラリンピック」への関心も高い。しかし、女子については「体力に自信がある」「運動・スポーツが好き」とする回答の割合が男子に比べ低い。こうしたことから、普段から家の人と運動をしたり、スポーツを観たり、スポーツの話をしてたりするなどして、運動・スポーツに興味・関心を持たせていくよう家庭へ働きかけていく必要があると考える。
- 体育の授業で「今日学んだ内容をふり返る活動」を「行っていない」とする回答の割合が全国・大阪市平均の3倍以上になっていることについては、重く受け止める必要がある。日々の授業のめあてをはっきりと示し、「ふり返る活動」を取り入れるなど「楽しい体育の授業」をさらに追究していく。
- 男女ともに体育の授業で「できるようになったきっかけ」として回答の割合が最も高かったのは「友だちに教えてもらった」であった。「友だちと協力しながら学習できるような日々の体育の授業」をめざし、授業の工夫とともに集団づくりについても大切にしていく。
- 運動場が本来の広さに戻り、サブグラウンドも活用しながら子どもたちは体育の授業はもちろん、休み時間も存分に体を動かしている。また、なわとびやかけ足といった取り組みも充実してきている。しかし、5年生のみの調査とはいえ、ここ数年全国平均を下回る結果について、どう受け止めていくのか今後の大きな課題として考えていく必要がある。

